<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《新吉田ナーサリー》	種別：認可保育園	
代表者氏名：杉浦 由佳	定員（利用人数）： 60 名	
所在地：〒223-0058 横浜市港北区新吉田東7-28-1		
TEL：045-544-0366	ホームページ： https://www.starchild.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： ヒューマンスターチャイルド（株）		
職員数	常勤職員： 11 名 非常勤職員 12 名	
専門職員	（専門職の名称） 名 園長 1名	
	保育士 16名 栄養士 1名	
	調理員 3名 事務員 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6室	事務室・調理室・調乳室・保育士休憩室など

③理念・基本方針

子どもたちが輝く【保育理念】

「スターチャイルドは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。」

子どもたちが輝く【保育目標・方針】

①良く考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します）

②個性の豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）

③やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・保育サービスの安定的提供と、保育サービスの質の持続的向上を目的とし、ISO9001の導入をしています。
- ・3歳児からは外部講師による英語・体操教室やスターチャイルド独自のドリルを取り入れるなど、生きる上で必要な力を総合的に学べる時間を設けています。
- ・世界の絵本を導入し、文化や価値観の違いに触れ、多様性を学ぶ機会を増やしています。
- ・園の周辺は住宅街やマンション、工場ですが、近隣には緑道や広場、公園、河川道路と自然に恵まれた立地となっており、晴れた日は園外への散歩活動を多く取り入れています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年 4月 19日（契約日） ～ 2024年12月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 2019年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもたちは、保育士の声掛けにより自分たちで考え、主体的に園生活を楽しんで います

保育士は子どもたちが自分たちで考え、行動できるような声掛けを常にしています。散歩の朝、ベランダの窓を開け、外気に触れるようにして「上着はどう？」と声を掛けます。子どもたちは少し考えて着ていく子も着ない子もいます。雨上がりの水たまりの多い公園で「水たまりがあるけど、鬼ごっこはどうか？」と声掛けをします。「滑って転びそう・・・」と言って鬼ごっこをしない子もいますが、「こっちでしよう！」と水たまりの少ない場所を選んで鬼ごっこをする子たちもいます。「鬼ごっこは禁止」ではなく、子どもたちに考えさせて選ばせています。乳児に公園でのルールを説明する時も同じように問い掛けています。子どもたちは「ケガしちゃうからダメ」などと答え、ルールを理解して探索行動を楽しんでいます。保育士は関わり過ぎず、子どもたちが主体的にしていることを見守り、援助しているため、子どもたちは自分たちで考えて行動でき、遊びも広がり、園生活を楽しんでいきます。

◆保育士は子どもたちの状況を共有し連携して保育しています

保育室はワンフロアで、お互いの様子がよく見えるので、保育士は状況を見て他クラスに入って応援をしたり、必要な子どもに個別に対応したり、連携して保育をしています。野外でも同じように互いのクラスをみて連携しています。職員間は風通しがよく話しやすい関係にあり、子どもの状況はクラスの中で十分話し合わせ、乳児会議、幼児会議で報告し、昼礼やカリキュラム会議など園全体で共通理解しているので、どの職員でも同じ対応ができるようになっていきます。特に忙しい昼食後の時間は主任や施設長も応援に入り、園全体で保育をしています。1週間の勤務する日数や時間数が異なる非常勤職員も引継ぎ簿や会議録を必ず確認して同じように対応しています。そのため、子どもたちも安心して過ごすことができています。

◆園は子どもたちが安心安全な園生活を送れるよう、職員全体で努めています。

施設長と担当保育士で構成される「事故防止委員会」は2ヶ月に一度、園内外の危険個所の確認を行い、各クラスから提出されたヒヤリハットの集計、分析をしています。結果はグラフにし、園内見取り図に付箋を貼って事務所に大きく掲示し、職員はいつでも確認でき、注意喚起がされています。また、近隣の公園、散歩道、避難経路について、危険個所を地図にマークしたり、写真にしたりして誰が見てもわかりやすいようにした「リスクファイル」を作成し、また気づくたびに更新して、職員は確認をしています。園全体で安心安全に過ごせるよう取り組んでいます。

◆今の保育実践を全員で振り返り、更なる保育の質の向上を目指すことが期待されます。

園では法人の作った「保育士業務マニュアル」「乳児保育対応マニュアル」の他、園独自に、園の実情に即した「新吉田手順書」を作成し、必要だと気づいた時には新たに更新していますが、年度初めに各自でマニュアルを読んで確認するだけとなっています。園生活の基本となる生活の部分、オムツ替えや着替えなどの手順の際の声掛けや、プライバシーへの配慮、時間配分などについて、全員で考える機会を持ち共通理解のもと、より一層丁寧に子どもに接することができるようにすることが望まれます。園全体でお互いの保育実践の良いところを見習ったり、自分の保育実践を振り返ったりして、保育士個々の意識を高め、更なる保育の質の向上を目指すことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

前回の第三者評価受審から5年が経ち、改めて当園の保育の在り方を見直す機会をいただきました。評価項目をひとつひとつ確認する中で見えてきた改善点、また実際に保育を見ていただく中で客観的に自身の保育を見直すことができる環境に、職員一同気の引き締まる思いで臨んだ次第です。園の良いところを細かく見ていただき自信になった部分も多く、また、改善すべき部分はより良くするためのアドバイスをいただくなど、温かい目で見えていただきましたこと、感謝申し上げます。

そして保護者の皆様には日々の忙しさの合間を縫ってアンケートにご協力いただき貴重なご意見、温かいお言葉の数々を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。いただいたご意見も踏まえながら、引き続き信頼と質の向上へ努めていきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり